

また、今日の変化の激しい社会にあって、いわゆる知識の陳腐化が早まり、学校時代に獲得した知識を大事に保持していれば済むということはもはや許されず、不断にリフレッシュすることが求められるようになってきている。生涯学習時代の到来が叫ばれるようになったゆえんである。加えて、将来予測がなかなか明確につかない、先行き不透明な社会にあって、その時々々の状況を踏まえつつ、考えたり、判断する力が一層重要となっている。さらに、マルチメディアなど情報化が進展する中で、知識・情報にアクセスすることが容易となり、入手した知識・情報を使ってもっと価値ある新しいものを生み出す創造性が強く求められるようになってきている。

このように考えるとき、我々はこれからの子供たちに必要となるのは、いかに社会が変化しようとして、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力であり、また、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性であると考えた。たくましく生きるための健康や体力が不可欠であることは言うまでもない。我々は、こうした資質や能力を、変化の激しいこれからの社会を「生きる力」と称することとし、これらをバランスよくはぐくんでいくことが重要であると考えた。

平成8年7月19日 中央教育審議会
21世紀を展望した我が国の教育の在り方について（第一次答申）より抜粋

確かな学力の向上のための2002アピール「学びのすすめ」(平成14年1月)

- 1 きめ細かな指導で、基礎・基本や自ら学び自ら考える力を身に付ける
- 2 発展的な学習で、一人一人の個性等に応じて子どもの力をより伸ばす
- 3 学ぶことの楽しさを体験させ、学習意欲を高める
- 4 学びの機会を充実し、学ぶ習慣を身に付ける
- 5 確かな学力の向上のための特色ある学校づくりを推進する

関連ホームページ

- ・文部科学省 (<http://www.mext.go.jp/>) ・国立教育政策研究所 (<http://www.nier.go.jp/>)
- ・教育の構造改革 (http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/15/05/f_03052701.htm)
- ・学習指導要領 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youryou/index.htm)
- ・初等中等教育における当面の教育課程及び指導の充実・改善方策について(中央教育審議会答申) (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/f_03100701.htm)
- ・教育課程部会事務局だより (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/dayori.htm)
- ・「確かな学力」ホームページ (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku/index.htm)
- ・完全学校週5日制について (http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/week/index.htm)
- ・学力向上アクションプラン (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/actionplan/index.htm)
- ・総合的な学習の時間応援団のページ (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/index.htm)
- ・「英語が使える日本人」の育成のための行動計画 (http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/15/03/03033101.htm)

本パンフレットはホームページからダウンロードできます。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/actionplan/03071101.htm

初等中等教育局教育課程課

〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1 E-mail : voice@mext.go.jp

「確かな学力」と
「豊かな心」を
子どもたちに
はぐくむために…



平成16年5月

文部科学省初等中等教育局

子どもたちの現状と求められる力

子どもの姿と、それを取り巻く社会環境

(社会環境)

変化の激しいこれからの社会の中で、学ぶ意欲や将来直面する様々な課題を解決する力を重視するのは国際的な流れ
生活や自然の中での体験が豊富な子どもほど、道徳観・正義感が身に付いているが、現在は、親の世代と比べて子どもの体験の機会が少なくなっている

(子どもの学力の現状)

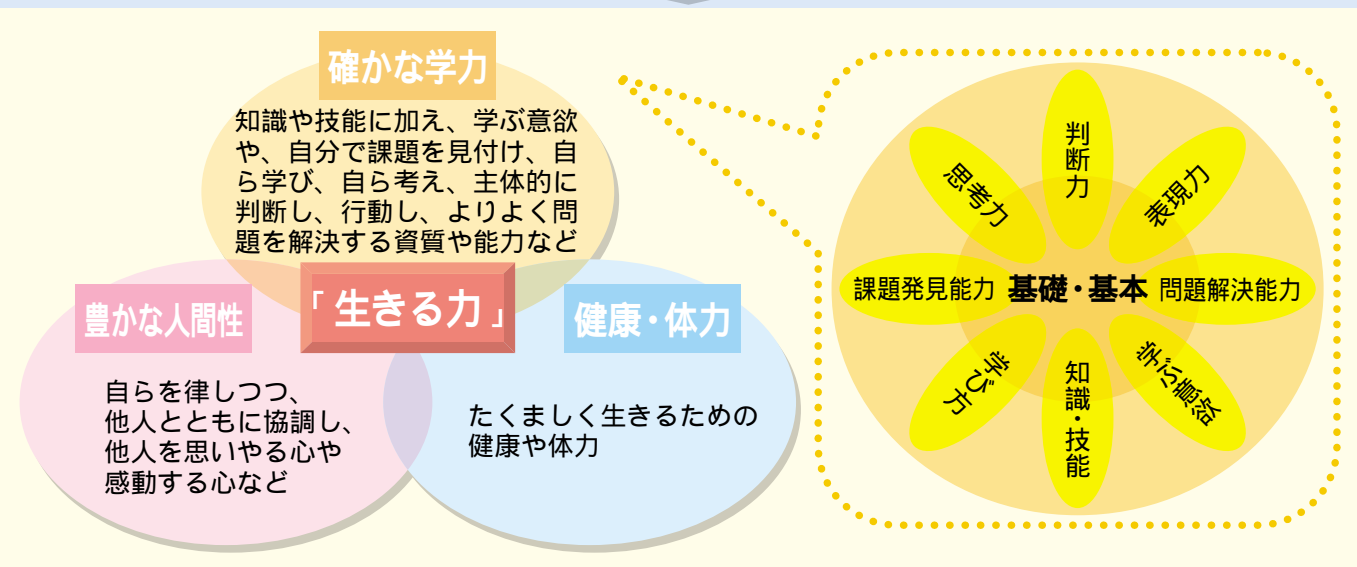
日本の子どもの成績は国際的にみてトップクラス
覚えることや計算、文章の読み取りは得意だが、学習が受身で、自分から調べ、判断し、自分なりの考えを持ちそれを表現する力が不十分
勉強は大切だと思うが、好きではない
学年があがるにつれ、授業が「わかる」割合が低下
学ぶ習慣が十分に身に付いていない(宿題や自分の勉強をする時間は先進国で最低レベル)

今、子どもたちには・・・

生活体験・自然体験・社会体験などの機会の充実が必要

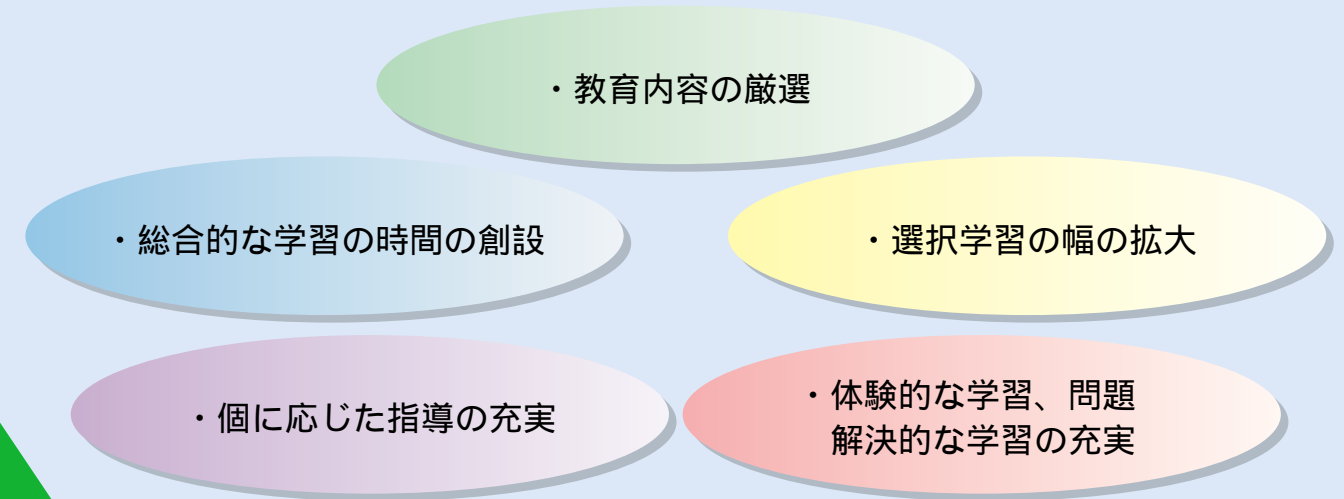
見きわめる力、表現する力まで含めた学力の向上が必要
学ぶ意欲を向上させることが必要
わかる授業を行うことが必要
学ぶ習慣を身に付けさせることが必要

子どもたちに「生きる力」を身に付けさせることが求められています

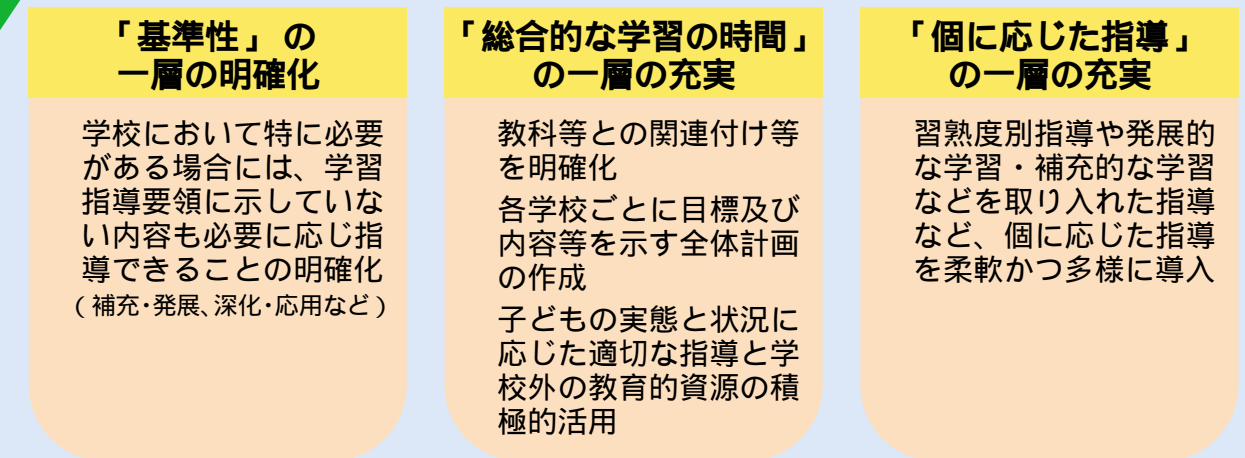


新学習指導要領のねらい

完全学校週5日制の下、各学校が「特色ある教育」を展開し、子どもたちに学習指導要領に示す基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむ



学習指導要領の一部改正（平成15年12月26日告示）
～新学習指導要領のねらいのより一層の実現のために～



平成16年度から反映

基礎的・基本的な内容の確実な定着に必要な指導時間の確保

「わかる授業」を行い、「確かな学力」を育成
特色ある教育・学校づくりを推進

〔「基準性」とは、学習指導要領に明示されている共通に指導すべき内容を確実に指導した上で、子どもの実態を踏まえ、明示されていない内容を加えて指導することもできるという性格〕

「確かな学力」を飛躍的に向上させるための総合的施策

～習熟度別指導などきめ細かな指導の実現～

学力向上支援事業（新規）

・教員志望者や教員経験者等地域の有意な人材を積極的に活用し、小・中学校で放課後等に子どもの学習相談にきめ細かく対応（平成16年度約530校）

学力向上フロンティア推進事業

・拠点校（平成16年度小・中学校約1700校、高等学校約200校）において「個に応じた指導」に関する実践研究を行い、その成果を全ての小・中・高等学校に普及

学習指導カウンセラー派遣事業

・小・中学校への研究者等の派遣により、学習指導の自己点検・自己評価を支援（各都道府県3校）

新しい評価の普及・定着

・国民に対するPRの推進、モデル地域事業の実施、調査書の客観性・信頼性の向上のための調査研究の実施 など

～特定分野において卓越した人材を育成～

スーパーサイエンスハイスクール

・指定校において、理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携方策についての研究を実施（平成15年度45校 平成16年度60校）

スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール

・指定校において、英語教育を重視したカリキュラムの開発、一部の教科を英語によって行う教育等、大学や中学校等との効果的な連携方策についての実践的研究を実施（平成15年度50校 平成16年度85校）

目指せスペシャリスト

・先進的な技術・技能をとり入れた教育等を行っている高等学校を指定し、技能の修得法などの研究等を推進（平成15年度7校 平成16年度14校）

～学習意欲や学びの質の向上～

「総合的な学習の時間」推進事業

・学校間連携等に関するモデル地域における実践研究（10地域）や、NPO等の活用に関する実践研究（20地域）などを実施

学習意欲向上のための総合的戦略

・学ぶ楽しさや学ぶ意義を伝えるための施策を総合的に推進し、子どもたちの学習意欲の向上を図る

- 「その道の達人」派遣事業（小・中・高等学校対象）

- 「学びんピック」の開催（小・中・高校生対象） など

理科大好きスクール

・科学技術・理科教育を重点的・一体的に推進する地域の指定校（小・中学校）において、子どもたちの科学的な見方や考え方を育成する実践的研究を推進

「確かな学力」の向上

揺るぎない基礎・基本
思考力、表現力、問題解決能力
生涯にわたって学び続ける意欲
得意分野の伸長
旺盛な知的好奇心、探究心

～英語力・国語力の向上～

スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール（再掲）

国語力向上推進事業

・教員の国語の指導力向上、子どもたちの国語力向上に総合的に取り組むモデル地域の指定

～外部人材の協力による学校現場の活性化～

学力向上支援事業（再掲）

学習指導カウンセラー派遣事業（再掲）

「総合的な学習の時間」推進事業（再掲）

・NPO等との連携により効率的に外部人材を導入

学校いきいきプラン

・学校に社会人を教員補助者として導入し、子どもたち一人一人に目配りの行き届いた教育を実現

～全国的大規模かつ総合的な学力調査等の実施～

施策の成果を把握するための調査を充実
施策の推進・改善にフィードバック

特定の課題に関する調査の実施（新規）

・教育課程実施状況調査及び研究指定校では把握が難しい、特定の分野・内容などについて、全国的な実現状況を把握

学力向上アクションプラン：平成16年度予算約44億円

（下線を付した事業の予算の合計）

国際的にトップクラスの教育の質を担保する条件整備

～直接の教育の担い手である教員の質の向上～

10年経験者研修の実施

英語教員に対する研修の実施

教員の評価に関する調査研究

e-教員プロジェクト

学力向上支援事業（再掲）

など

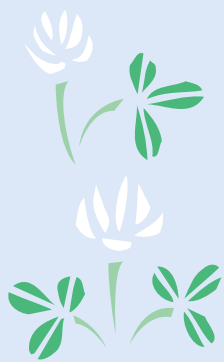
～習熟度別指導等に対応した教員数の増加～

教職員定数の改善計画の推進

～新しい教育に対応した施設整備の推進～

教育内容・方法の多様化に対応した施設づくり

「新世代型学習空間」、校内LANの整備



心豊かな子どもの育成

子どもの姿や生活の状況

少子化、都市化、情報化等の進展
人間性や社会性をはぐくむ上で重要な体験の機会や場の減少
倫理観や社会性の不足、規範意識の低下、自立の遅れなどの指摘
暴力行為、いじめ、不登校などの憂慮すべき状況 など

いまはぐくみたい 豊かな人間性や社会性

美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性

正義感や公正さを重んじる心

生命を大切にし、人権を尊重する心などの基本的な倫理観

他人を思いやる心や社会貢献の精神

自立心、自己抑制力、責任感

他者との共生や異質なものへの寛容 など

主な施策

「心のノート」の作成・配布

道徳の内容をわかりやすく表した「心のノート」をすべての小・中学生に配布。
道徳の時間をはじめ、各教科等の学習や家庭において広く活用。



「心のノート」(右から小学校1・2年用、同3・4年用、同5・6年用、中学校用)

「心のノート」はこんなノート

子どもが
自分を
見つめるノート
自分のことを振り返り、考え、自由に書きとめます。

子どもが
自分の成長に
生かすノート
興味を持ったページを開いて、進んで活用します。

学校と
家庭をつなぐ
「心のかけ橋」
学校と家庭が連携して子どもの心をはぐくむために生かします。

心に響く道徳教育の推進

子どもたちが人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成する

学校における道徳教育

- 【幼稚園】 道徳性の芽生えを培う。
- 【小・中学校】 道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行う。それを補充・深化・統合するため、「道徳の時間」において、計画的、発展的に指導する。
- 【高等学校】 公民科やホームルーム活動を中心に、学校教育活動全体で行う。

道徳の内容

主として自分自身に関する事
望ましい生活習慣を身に付ける、
着実にやり抜く強い意志をもつ、
よいことと悪いことの区別をする、真理を愛する、自己の向上を図る など

主として他の人とのかかわりに関すること
礼儀正しくする、思いやりの心をもつ、互いに励まし合う、それぞれの個性や立場を尊重する など

主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること
自然を愛護し、美しいものに感動する、人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ、かけがえのない自他の生命を尊重する など

主として集団や社会とのかかわりに関すること
役割や責任を自覚し集団生活の向上に努める、法やきまりを遵守する、公正・公平にする、勤労の尊さを理解する、郷土や国を愛しその発展に努める、世界の平和と人類の福祉に貢献する など

新学習指導要領における道徳教育の改善の要点

善悪の判断や郷土を愛することなどの内容の充実
体験活動を生かすなど心に響く道徳教育を推進
校長や教頭の参加、家庭や地域社会との連携を推進 など

「心のせんせい」の配置

地域の人材や多様な専門分野の社会人の協力を得て、児童生徒の心に響く道徳教育を推進。

児童生徒の心に響く道徳教育推進事業

教育委員会・学校において、体験活動を生かしたり、地域の人材を活用したりするなど創意工夫を生かした道徳教育を推進。

道徳教育充実のための教員養成学部等との連携研究事業

教育委員会と大学の教員養成学部等が連携し、道徳教育充実のための研究を実施。

体験活動の推進

「豊かな体験活動推進事業」「地域と学校が連携協力した奉仕活動・体験活動推進事業」などにおいて、他校のモデルとなる体験活動に取り組むとともに、全国的な体制づくりを促進。

家庭教育への支援

親が自信をもって子育てに取り組む契機となるような「新家庭教育手帳」の作成・配布、親の気軽な相談相手として配置されている「子育てサポーター」の資質向上を図るリーダーの養成、家庭教育に関する講座や父親の家庭教育参加を考える集い等の実施。

(平成16年度予算による)